

△一九七九年▽ついに起きた炉心溶融 13

スリーマイル島原発事故①② 「學術シンポジウム」浮上
「公開の原則」見直し論 「學術シンポジウム」強行

△一九八〇年▽相つぐ「公開ヒアリング」 29

福島原発の被曝・汚染 學術會議会長の核認識 電気料金値
上げ 原発警備隊発足 「定期検査」の実態 GE社が原発
離れ

△一九八一年▽敦賀原発の事故隠し 49

公開ヒアリングの正体 原発推進町長のリコール 敦賀原発
で事故隠し発覚 初の『原子力安全白書』 敦賀原発の修理
費

△一九八二年▽動き始めた「あと始末」計画

「原発Ⅱ新幹線」説 軍事利用への道 長期エネ需給見通し
改定 民間再処理工場を急ぐ理由 もんじゅ・ヒアリング
電力業界の方針転換 ATR実証炉にゴー・サイン 敦賀事
故のあと始末

△一九八三年▽八年ぶりの全国集会 89

ヒアリング参加論に異議 労働者被曝の規制緩和 県が事前
調査を肩代わり 原子力安全委の五年間 反原発全国集会1
983 警察と原子力 高速増殖炉開発挫折 無理がめだつ
原発行政 泊一、二号炉ヒアリング

△一九八四年▽プルトニウム時代の入口に立つ 113

中国への機器輸出 「核燃料サイクル基地」計画要請 世論
調査の結果発表 「核燃料サイクル基地」計画の内実 ウラ
ン輸送船が沈没 「原子力開発30年」キャンペーン 柏崎三、
四号炉ヒアリング中止 プルトニウムが帰ってきた 原子力
産業のサバイバル 伊方原発裁判で高裁判決

△一九八五年▽大事故の予兆 143

通産省VS科技庁の舌戦 日本原燃産業の創立総会 電源の
ベストミックス論 東海第二原発裁判で判決 定期検査

の手抜き もんじゅ計画に遅れ 放射能のなし崩しのゴ
ミ捨て 幌延廃棄物施設計画

△一九八六年▽チェルノブイリ原発事故 167

六フッ化ウラン放出事故 英再処理工場が操業休止 電力施
設計画 チェルノブイリ原発事故 核のゴミ野放し法案成立
民間再処理工場のメーカー分担 被曝規制「強化」の内実
二つの国際会議 核物質防護法上程の動き 30年目の原子力
白書 返環廃棄物の行方 エネルギー・ビジョン出揃う 米
の二原発で重大事故

△一九八七年▽日本の原発がこわい 205

インドネシアに原発輸出? 崩れた低コスト神話 労働者被
曝データの読み方 再処理をめぐる矛盾 蒸気発生器細管の
損傷 ソ連事故調査委報告 原子力長期計画の改定 日本の
原発がこわい 原発輸出の新模式 日米新原子力協定に署名

あとがきにかえて 239